

令和7年度 釧路町立遠矢小学校グランドデザイン

釧路町 教育目標 (町民憲章)

遠矢小・中がめざす大人の姿

- 弱者に対して思いやりを持つ
- 自分の仕事にやりがいを感じている
- 社会に貢献することに喜びを感じている
- 自分を高めるために学び続けている
- 一定の収入を得て家庭生活を営んでいる
- 物事を前向きに考えて生活している
- 職場で望ましい人間関係を築いている
- 心身ともに健康で働いている
- 趣味を持ち、潤いのある生活をしている
- 社会のルールや規範に従って生活している
- ふるさと釧路町を愛している
- 自己肯定感を持ち、自他を大切にしている

教育目標 (12歳の姿)

☆未来に向かってたくましく生きる子どもの育成

- 自ら考え、行動する子 (知)
- 自分と他を尊重する子 (徳)
- 心身ともに健やかな子 (体)

今年度の目指す子ども像

「自ら考え判断行動する」
～主体的に生きる力
の育成～

《めざす教師の姿》

- ☆互いを認める穏やかな雰囲気
- 授業の質の向上に向け意欲的に学ぶ教師
- チームで行動するコミュニケーション能力の高い教師 (若手教員の育成)
- 保護者・地域から信頼される教師 (PTA との連携強化)

「知」の向上

- 日常授業の授業改善
 - ・主体的対話的で深い学びへの転換⇒児童が自己調整し進める学習
 - ・教科の「思考力・判断力・表現力」を育成する授業への転換⇒未知の状況に対応できる力の育成
 - ・「目標→活動→まとめ→振り返り」による1時間で完結する授業
 - ・形成的評価を活用した授業づくり
 - ・児童の振り返り (自己評価) による授業改善の取組
- 家庭学習の習慣化と内容の充実
 - ・家庭学習啓発便りの発行
 - ・授業内容に沿った家庭学習方法の指導 (予習→授業→復習のサイクル)
 - ・タブレットの持ち帰りによる有効活用
- 学びの環境を整える
 - ・遠矢式学習ルールの徹底
 - ・ICTの有効活用

「徳」の向上

- 「自発的・主体的な成長」を支える生徒指導の充実
 - ・めざす子ども像の共有
- 「思いやりの心」「粘り強く努力する心」を育む教育の充実 (全教育活動)
- Q-U やアンケート・質問紙による児童の実態共有と分析⇒研修の充実
- 日常の対話と面談週間を用いた、個々への適切な対応
- 「考え、議論する道徳」への質的転換
 - ・全体計画に則った授業と授業評価の実施
- 「自己肯定感・有用感」を高める指導の充実
 - ・肯定的な評価、言葉がけを指導・支援の基本とする
 - ・あいさつ、感謝する心、時間を守る態度の育成
- 総合的学習の時間の充実
 - ・中学校、高校へつながる「キャリア教育」の充実
 - ・体験的、問題解決的な学習の充実

「体」の向上

- 安定した基本的生活習慣確立に向けた指導の充実 (家庭と連携)
 - ・生活リズムチェックシートを活用した実践と指導
 - ・スマホ・タブレットの適切な使用時間の指導
- 遊び・運動の日常化
 - ・縄跳びチャレンジの実施
 - ・歩こうウィークスの実施
- 体力テストの分析と対策
 - ・児童個々による課題解決の取組
- 危機管理対応能力の育成
 - ・地震、津波、火災対応の避難訓練の実施
 - ・防災教室の実施
- 望ましい食習慣の定着と安心安全な生活への取組
 - ・食に関する指導の充実
 - ・食物アレルギーへの対応
 - ・薬物乱用防止教室の実施
- 思春期教育の充実
 - ・学校医、学校歯科医との適切な連携
 - ・学習環境の整備
 - ・安全点検
 - ・清掃活動の充実

《めざす学校の姿》

- 『子どもが自ら育つ学校』
- 児童にとって ⇒登校したくなる学校 (居場所のある学校)
- 教職員にとって ⇒働きがいのある学校 (実践したいことを尊重)
- 保護者にとって ⇒安心して任せられる学校 (子の成長を同じ視点で共有)
- 地域にとって ⇒親しみがもてる開かれた学校 (地域の方々の効果的な活用)

〈 学校経営のテーマ 〉

◎子どもの力を信じて、困難な課題に挑戦する力をつける！

教育方針

常にキャリア発達を意識し、知・徳・体がバランス良く身に付いた児童を育む教育の推進

- ◇目標進路を実現するための基礎学力の定着と学び続ける態度を育む教育を推進する
- ◇豊かな生活を送るための人間性、道徳性、社会性を育む教育を推進する
- ◇充実した生活を送るための健康な心身と基礎体力を育む教育を推進する

〈 学校経営の前提 〉

- 児童は一人の人間として人格と人権をもった存在であり、この人格や人権を尊重し守る。
- 教師も児童も未完成の存在であり、互いに学び合い、高まり合う存在である。